

フットスイッチ サービスガイド



チェアのセット

推奨する工具

- 3/16インチ六角レンチ
- プライヤー

1. チェアのベースを一番上まで上げます。



危険 この手順を開始する前に電源をオフにしないと、感電する恐れがあります。



警告 この手順を開始する前に電源をオフにしないと、装置に損傷を与えたり、死亡を含む人身事故を起こす恐れがあります。



注意 回路基盤は静電気による損傷を受けやすい部品です。回路基盤に触れる場合、あるいは回路基盤への接続または回路基盤からの接続を行う場合は、静電放電(ESD)対策が必要です。回路基盤の取り付けは、必ず電気技師または適切な資格を持った整備担当者が行ってください。



注意 カバーを取り外したり交換したりする場合は、配線を損傷しないように注意してください。交換したカバーがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

2. チェアの電源をオフにします。

次の手順 ご利用のチェアのセクションに進んでください。

- 「Cascade®、Decade®、Performer®、またはA-dec 200」(2ページ)
- 「A-dec 311(バージョンA)」(2ページ)
- 「A-dec 311(バージョンB)または411歯科用椅子」(3ページ)
- 「A-dec 511歯科用椅子」(4ページ)

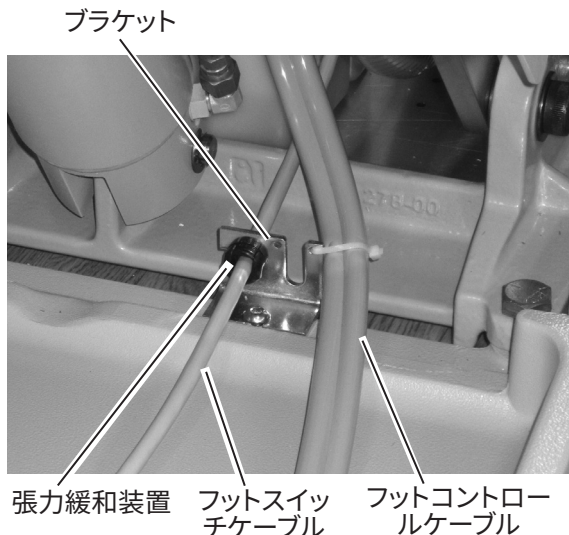
Cascade[®]、Decade[®]、Performer[®]、またはA-dec 200

- 1 チェアの背面から、チェアの回路基板を通してフットスイッチケーブルを配置し、P1に接続します。
- 2 張力緩和装置とフットスイッチケーブルをブラケットに取り付けます。
- 3 3/16インチ六角レンチを使って、ブラケットを固定します。



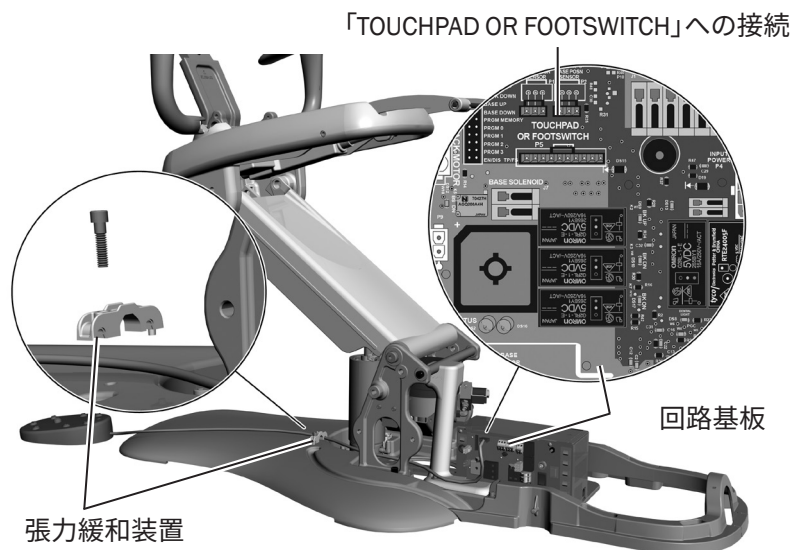
NOTE A-dec 200歯科用椅子にはブラケットがあらかじめ取り付けられます。

- 4 5ページの「フットスイッチの手动操作」に進んでください。



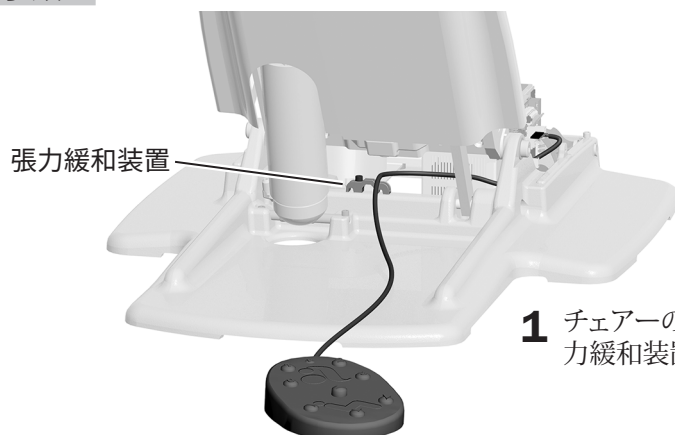
A-dec 311 (バージョンA)

- 1 チェアの背面から、チェアの回路基板を通してフットスイッチケーブルを配置し、「TOUCHPAD OR FOOTSWITCH P5」コネクタに接続します。
- 2 3/16インチ六角レンチを使用し、張力緩和装置のサイドホールに1つにフットスイッチケーブルを固定します。
- 3 5ページの「フットスイッチの手动操作」に進んでください。



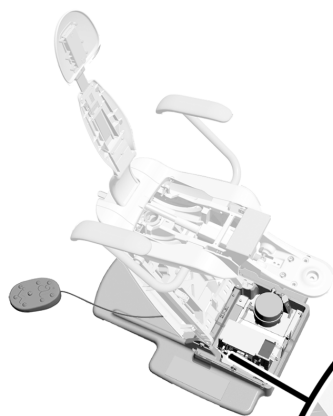
A-dec 311 (バージョンB) または411歯科用椅子

手順1.



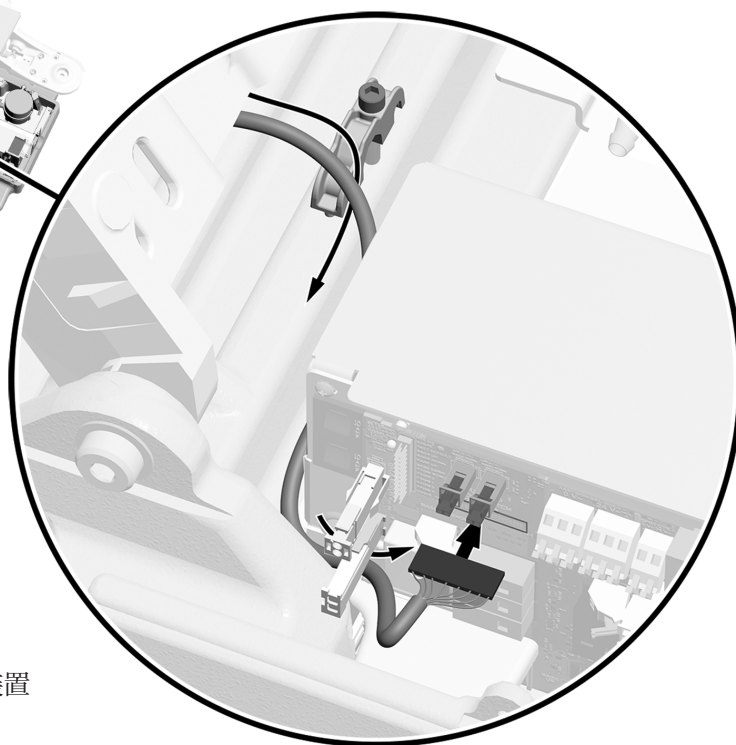
- 1 チェアの背面側からフットスイッチケーブルを張力緩和装置の上に通します。

手順2.



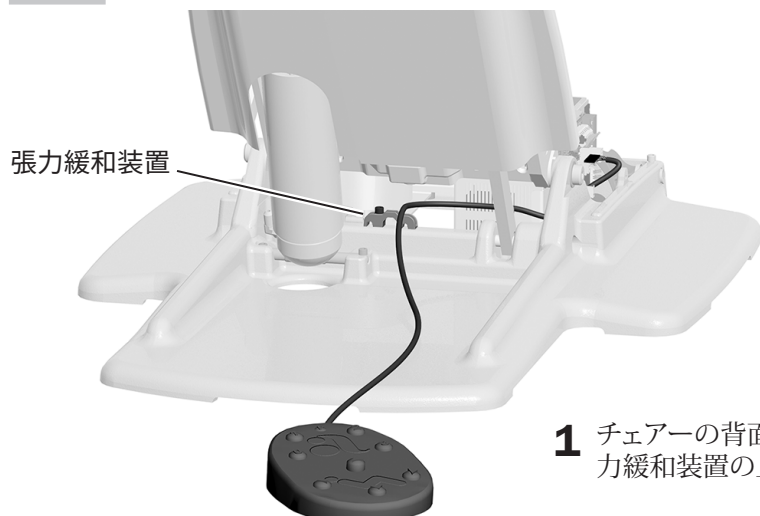
注意 濡れて故障することを避けるため、フットスイッチケーブルが白のコネクタの下に来るようにしてください。

- 1 フットスイッチケーブルを電源装置の側面に沿って2つの白のコネクタの下に通します。
- 2 フットスイッチケーブルを「TOUCHPAD OR FOOTSWITCH P5」コネクタに接続します。
- 3 3/16インチ六角レンチを使用して張力緩和装置の下にフットスイッチケーブルを固定します。
- 4 5ページの「フットスイッチの手動操作」に進んでください。



A-dec 511 歯科用椅子

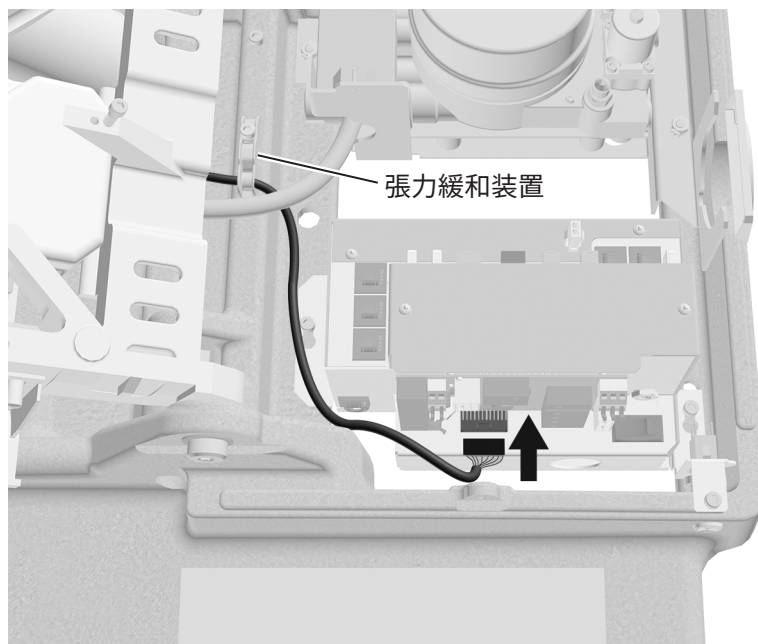
手順1.



- 1 チェアの背面側からフットスイッチケーブルを張力緩和装置の上に通します。

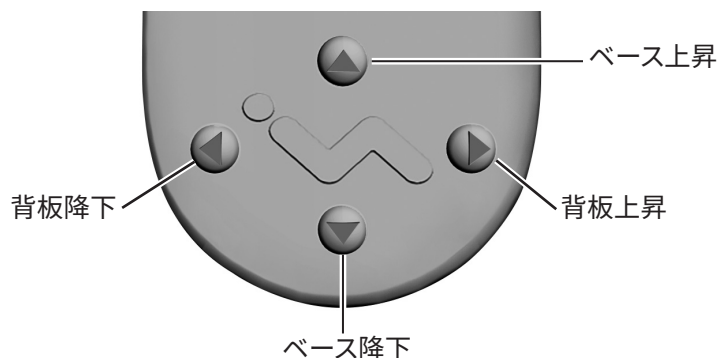
手順2.

- 1 フットスイッチケーブルを電源装置の側面に沿って回路基盤まで配置します。
- 2 フットスイッチケーブルを、回路基盤の下端にあるP5コネクタに接続します。
- 3 3/16インチ六角レンチを使用して張力緩和装置の下にフットスイッチケーブルを固定します。



フットスイッチの手動操作

チェアーが希望のポジションになるまで、矢印ボタンを押し続けます。水平方向の矢印ボタンでは、チェアーの背もたれを上げ下げできます。垂直方向の矢印ボタンでは、チェアーベースを上げ下げできます。

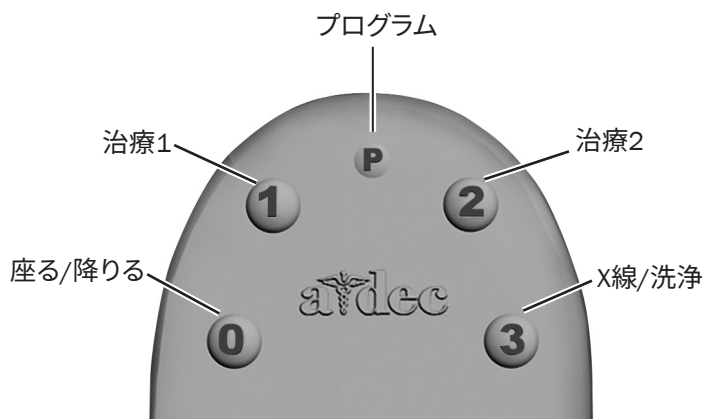


フットスイッチのプログラム制御

プログラム可能ボタンを押して放し、チェアーをプリセットポジションに移動します。これらのボタンは、次のように初期設定されています。

表1. チェアープリセットボタン

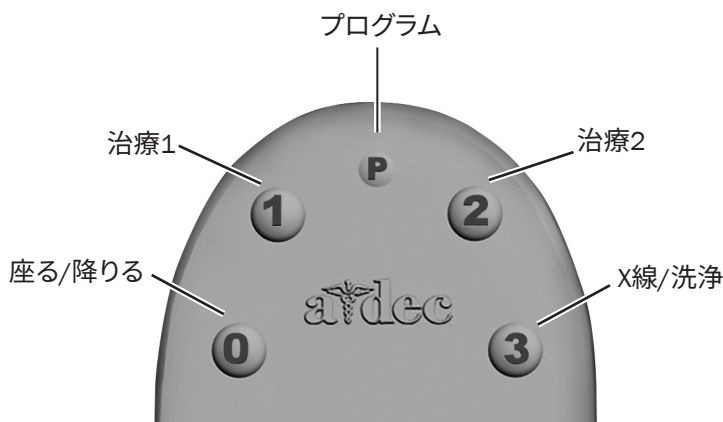
ボタン	ポジション	初期設定
①	座る/降りる	患者がチェアーに乗り降りするときのポジションを設定します。また、歯科ライトをオフにします。
②	治療1	チェアーのベースと背板を降下させます。また、歯科ライトをオンにします。
③	治療2	チェアーのベースを降下させ、背板を上昇させます。また、歯科ライトをオンにします。
④	X線/洗浄	チェアーをX線または洗浄のポジションに動かします。もう一度押すとチェアーが元の位置に戻ります。また、歯科ライトがオフになるか、オンに戻ります。



ボタン0、1、2、3のプログラム変更

①、②、③ ボタンに割り当てられている工場出荷時のプリセットのチェアポジションを変更するには:

1. 手動操作でチェアを希望のポジションに調節します。
2. **P** を押して離します。ビープ音が1回鳴り、プログラムモードがオンになったことを知らせます。
3. 5秒以内に、プログラムを変更するチェアポジションボタンを押します (たとえば、**1** を押します)。ビープ音が3回鳴り、新しい設定がプログラムのメモリーに記憶されたことを知らせます。



ボタン3のオプション機能 - Cascade、Decade、Performer III、またはA-dec 200

③ボタン(X線/洗浄ボタン)は、チェアを動かして患者をまっすぐに座らせ、レントゲンを撮ったり、患者がスピットンを使えるようにします。③を再度押すと、チェアが以前のポジションに戻ります。

③ボタンも、2つのオプション機能のいずれかを実行するように設定できます。チェアの回路基盤のS2スイッチを表2に示す位置にして、目的の機能を選択してください。

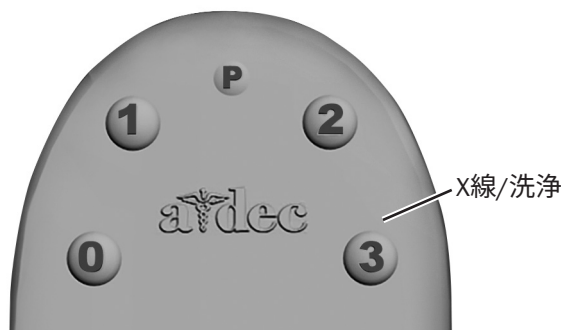
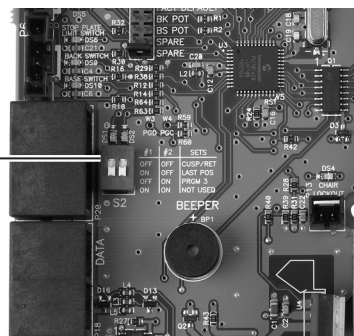


表2. ボタン3でのS2スイッチの機能

モード	スイッチ1	スイッチ2	機能
1	オフ	オフ	チェアをスピットンポジションに動かします。チェアを以前のポジションに戻します。
2	オン	オフ	チェアを直前のポジションに戻します。
3	オフ	オン	工場出荷時のプリセットのX線/洗浄ポジション。プログラムを変更してプリセットポジションを調整できます。

S2スイッチ



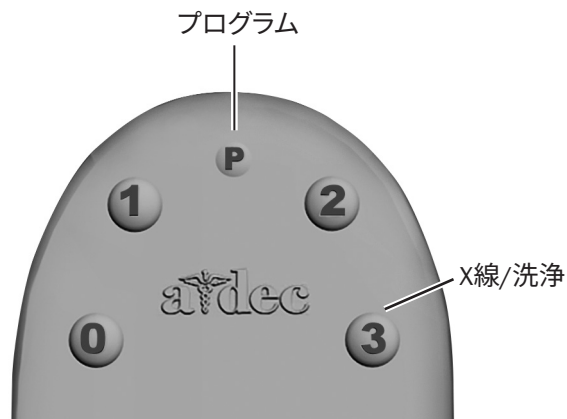
ボタン3のオプション機能 - A-dec 311、411、または511

X線/洗浄ボタン(③)は、チェアを動かして患者をまっすぐに座らせ、レントゲンを撮ったり、患者がスピットンを使えるようにします。③を再度押すと、チェアが以前のポジションに戻ります。

③は、プログラム可能なその他のチェアプリセットボタンと同じように機能するようにプログラム変更できます。機能を変更するには：

1. **P**と**③**を同時に3秒間押したままにします。
 - ビープ音が1回鳴るといことは、**③**が別のプログラム可能チェアプリセットボタンと同じように設定されたことを表します。
 - ビープ音が3回鳴るといことは、**③**がX線/洗浄プリセットと同じように設定されたことを表します(X線/洗浄ポジションと以前のチェアポジションとの間で切り替わります)。

その他のプログラム可能ボタンのように**③**のプログラムを変更して別のチェアポジションを割り当てるには、6ページの「ボタン0、1、2、3のプログラム変更」の手順に従います。



システムのテスト

1. チェアの電源をオンにします。
2. フットスイッチの各ボタンを押して、チェアが期待どおりに動作することを確認します。

規制に関する情報

当局により指定された規制情報については、『規制情報、仕様、および保証使用方法』（部品番号 (P/N) 86.0221.05) を参照してください。この文書は、www.a-dec.com のドキュメントライブラリから入手できます。

本書で取り扱う機種とバージョン

機種	バージョン	説明
Cascade	A	歯科用椅子
Decade	A	歯科用椅子
Performer	A、B	歯科用椅子
A-dec 200	A	歯科用椅子
A-dec 311	A、B	歯科用椅子
A-dec 411	A	歯科用椅子
A-dec 511	A、B	歯科用椅子

A-dec本社

2601 Crestview Drive

Newberg, OR 97132 USA

電話: 1.800.547.1883 米国/カナダ国内

電話: 1.503.538.7478 米国/カナダ国外

ファックス: 1.503.538.0276

www.a-dec.com

A-dec Inc. は、市販性の暗黙的な保証や特別な目的への適用を含む(ただしこれに限定されない)、この文書の内容に関する保証を一切行うものではありません。